滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

告示

關東總督府
陸軍大將男爵 大島義昌

出示曉諭事照得橫濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異銀元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益已爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其膺日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是橫濱正金銀行玆奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色旗民紳商等一体知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸譎之徒謠言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ疏通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ネク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ玆ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮説ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月

關東總督男爵 大島義昌

三井洋行 倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗塲上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八番)

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請認明是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印丼一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣帯棉布手巾花巾東洋緞子洋傘鍍表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總司理人 田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行北滙兌銀錢代客經理買賣租船裝運事宜營口東西兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜衆爲有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 業元卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己并另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶煤船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

德商 瑞生洋行

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮濟西本行主人啓

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撻利)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口市價値極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

茲爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙烟雙鶴牌(隆沽來福)百合花(利利)櫻花牌(撻利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

淸酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市磐岐町三百三十八號 日華運輸公司
大連市磐城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)
院主 森 矯
醫長 鈴木昌平
營口永世街 (電話一五五番)

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物產合名會社 牛莊支店 (電話六十六番)

和泉洋行
本店開設在營口重慶街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己凡中外仕商賜顧者請速臨爲幸
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪丸三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣 荒物
營口永世街第一八四號平野町
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局 材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需
謹本主人啓

今般小賣部を新設し官製刻煙草の小賣を開始致候間不拘多少御買求被下度奉願候
官製紙卷煙草及刻煙草一手販賣
江副洋行

雜貨卸商
在元神廟營口街
關東公司雜貨部

代理 道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二十九番)

東京電報

●海軍將官の大更迭

海軍將官中に大更迭あり三須中將旅順鎭守府司令長官に任ぜられ柴山大將待命仰せ付けらる

●同上別報

昨日海軍部內に左の通り更迭ありたり

補佐世保鎭守府司令長官　海軍中將　有馬新一
補吳鎭守府司令長官　海軍中將　山內萬壽治
補旅順鎭守府司令長官　海軍中將　三須宗太郎
待命被仰付　旅順鎭守府司令長官　柴山矢八
待命被仰付　佐世保鎭守府司令長官　鮫島員規

●駐日伊國大使館

在東京伊太利公使館は愈々昇格して大使館と爲す旨本日內報ありたり

(以上二月二日發電)

●閑院宮殿下の轉任

陸軍中將閑院宮殿下は第一師團長に轉任あらせらる

●澤公と貴衆兩院

載澤公一行は貴族院及衆議院に臨み議會の沿革典例等を調査したり

(以上二月三日發電)

北京電報

●清露協商愈々開始す

露國が清露協商開始に同意せることは前電既に報道せる所の如くなるが清露間に談判の始めて開始したるは既に去月二十三日の事にして清國全權委員唐紹儀と駐清露國公使ポコチロフとの間に第一回會見を遂げたり當時唐紹儀よりは對露要求として若干條を提出せるに露公使は彼に對し熟考の上回答せんことを以てし散會したり第二回會見は未だ其回答を得さるを以て尚開始の運びに至らず

●駐清各國公使の謁見

駐清各國公使は新年祝賀の爲め參內兩宮に謁見を爲せり

(以上二月三日發電)

倫敦電報

●英國文部卿の演說

英國文部卿オーガスチン、バーネル氏はブリストルに於て演說して曰く新議會の劈頭第一に顯はるへき議案は敎育問題なるへし、余は吾人の子弟をして基督敎を信奉せしめむと欲するを以て議會に於て敎育案を議するに當ても同宗敎を閑却せざらむことを望む我か自由黨夙に敎育問題の國民的解決を期せり而して今日以前に何等の遠慮なく其目的を達し得べかりしに拘はらす今日を待つに至りし所以のものは國民中主義を異にせる者に對して忍耐を示し總選擧に依て國民の承認を得るに非れは如何なる制度も以て國民的と爲すと能されはなりと

●饑饉救濟費受領

在倫敦日本大使館は饑饉地方救濟費として五萬圓餘の寄附金を受領せり

(二月一日發電)

●英國將校と日本軍隊

日英兩國協議の結果自今每年英國將校四名印度軍將校三名を日本に派遣し日本軍隊に附屬せしむることゝなれり而して其滯在期は二ヶ年にして初めの一年は日本語を學び後の一年は軍隊勤務に服する筈なり

(以上二月二日發電)

雜報

●露清談判の開始

北京電報は傳へて曰く清國外務部右侍郎唐紹儀氏は一月二十三日露國公使を訪ひ露清談判に關し交涉する處ありしと電文簡にして其詳細を知る能はずと雖も惟ふに今回の談判に於ては清國はその平常の受働的なるにも似ず斷乎として發働的に出でたるものゝ如し舊暦正月は清國の封印時代なれば何人も政界の太平無事を信じ居たりき然るに清國は急遽露國の壘に迫り彼の條件提出を待たず進んで自ら提出せり之れ實に近來の快事なり遉の露國公使ポコチロフ氏も狼狽の餘熟考を乞へるは當然なりと云はさる可らず吾人は清國の提案が如何なる條件なるか今日に於て之を知悉する能はずと雖もその清國の意氣込みより之を想像すれば必ずや正々堂々たるものなるを信ず記して以て後報の到るを待つ

●伊藤統監治韓談

伊藤統監は頃日來訪の客に對し余は三月上旬赴任の豫定なるが韓國に於ては行政財政の整理を初め其他經營すへき各種の事業も少からさるが右等の經營に對し多額の經費を要するは勿論なれど日本政府は到底之が資金の需用を充たすの餘力なきを以て其經費の如きは韓國の實力に任じ韓國をして爲し得らるゝ程度に於て外債其他の方法に依りて處辨する考へなり又同國民には毫も生

●露國頑黨の勢力

露國反動黨の運動は益々活潑を極め極東出征諸將軍の歸來は一層の氣勢を添へたる爲め反對黨の首領は政府の一切の姑息政畧を排斥して暴徒の根本的鎭靜を以て最急の要務となし宮中及び地方貴族富豪間に有力なる勢を張りつゝありウヰツテ一派が如何なる程度まで此反抗に堪ふべきやは今や疑問となれり而して今回議員選擧を延期したるは彼等の第一成功と誇稱する所なりといふ

●日露談判の開始

新に着任したる本邦駐剳露國公使館書記官コザコフ氏は去廿日より臨時代理公使として外交事務を見ることゝなりたるがポーツマウス條約に基き兩國の協定を要すへき諸事項中樺太境界問題沿海州沿岸漁業問題、鉄道連絡問題等は目下嚴冬の時期に際し實地の調査をなす能はさる事情あればこれ等に關する協商は多少延期すべきも豆滿江に沿ひたる露韓國境陸上防備の件は打捨て置く能はさる事情あるを以て兩國共取急ぎ委員を選定し東京に於て談判を開始する筈なりといふ

●清國の決意

新任駐英清國公使汪大燮氏が路透通信員の訪問に接して說ける所に依れば余は清國が日本に則り全力を擧げて近世的國民となすに努むるを疑はす多分清國南部には西洋式に則りて北部及び湖北に於けるものと同樣の陸軍を編成するに至るべしと說起し且つ黃人患說を一笑に附し去り曰く日本との同盟は蓋し今日の處行ふ能はさるなし唯々清國をして平和的發達を致さしめば清國と英米日との干繫益々鞏固となり正式の同盟を須ゐるなきに至るべしと又英藏條約に關して曰く清國は西藏を清國の他の各省と同一に管治し有効の政治を施さんことを願ふ英國は乃ち此方面に於て敵抗運動起るを恐るゝと無し此れ清國は條約を固守するを考ふる前先づ條約の修正に留意する所以なりと

●國債整理計畫

臨時國債整理局に於て計畫しつゝある國債整理方法は公債の總額を五歩利附十七億五千萬圓とし毎年一億一千餘萬國宛を其の元利償却に充て滿三十箇年に皆濟する計算なりと云ふ

●露國叛亂再發

露國の革命黨擾亂は一時鎭靜に傾きたるも近日更に激しき革命運動の勃發するの虞あり今回露帝暗殺の陰謀露顯して多數の婦人其の徒黨として捕縛されたる中に六人の貴族あり又波羅的沿岸諸州は再び擾亂の巷となり高加索州の形勢又甚た不穩なりと桑港發電に見ゆ

●獨逸製艦方針

同國半官報が公にする所に據れば日露開戰の敎訓に依り砲力は決戰の最大原因なりとの原則を應用して戰闘艦の噸數增加、砲力增加及び裝甲改良を第一とし次には獨逸の大巡洋艦孰れも現代の要求に應せさるを以て之か排水量を增加せんとし次には小巡洋艦の速力增加及び水雷艇砲力の增加に在りと云ふ

●南清艦隊の出動

武富司令官の坐乘せる南清艦隊旗艦千歳は愈々二月一日舞鶴を發し佐世保に寄航の上任地に出動する由なるが同艦隊の根據地は上海にして時々厦門方面に游弋する都合なりと又殘る一隻の高千穗は目下浦賀にて修理中なるが多分二月下旬には出動するならんと

●海軍機關官改稱

今回勅令を以て海軍武官官階中機關總監、機關大監以下少機關士とあるを機關中將、機關少將、機關大佐以下機關少尉に、豫備機關少監以下豫備少機關士とあるを豫備機關少佐以下豫備機關少尉に改め又本令施行の際機關官たるものは別に辭令を用ゐずして本令に據る各官階の機關官に任ずる旨公布し且右に準し海軍服制中に改正を加へたり

●駐露公使任命

特命全權公使法學博士　本野一郎
佛國駐剳被免露國駐剳被仰付

●露國の彌縫策　露國政府は飢餓に瀕せる農民の峰起を防ぎ且つ之に職業を與ふる爲め大規模の溝渠事業を起すへく目下計畫中なり其一法としてリガイ市とクールセ市の間に運河を開鑿するの議あり

●獨逸船買戻計畫　漢堡亞米利加汽船會社が波羅的艦隊に賣渡して列國の物議を醸したる汽船十一隻は同會社より再び買戻しの運動に着手したる由ケルニツシエ、ツアイツングは記せり

●投石者出獄　客年伊藤大使來韓に際し大使の列車中に投石したる犯人は二ヶ月の監禁に處せられ服役中なりしが刑期滿了し去月二十四日出獄したり

●博覧會開設期　第六回內國勸業博覧會は明治四十年開設の筈なりしも客臘勅令を以て延期となりしが農商務省にては博覧會開設調査費を本議會に追加豫算として提出する由なれは本年中諸般の調査を終へ明年明後年の二ヶ年間に準備をなし多分明治四十二年頃に開設の運ひとなるへしと云ふ

●滿洲渡航者の種痘

滿洲內地に於ては頃日來惡性の痘瘡流行し邦人の該病に冒さるゝ者少からず既に新民府に於ても在留民一般に種痘を施行し鋭意其豫防法を講しつゝあるとは同地通信にも見ゆる通りなるが關東總督府に於ても大に警戒する所あり此程其筋へ右の趣注意せるを以て警視廳第三部に於ては今後滿洲へ渡航する者は公設の種痘所又は官業醫の種痘を受け其證書を携帶するに非されは渡航せしめさる事とし去る二十六日警視廳令第一号を以て各署に通知したりといふ我營口に於ても夫々豫防の方法を講せられたきものなり

●馬賊の出沒

近頃新民屯附近は馬賊隱見出沒、甚た毒威を逞ふし、良民の爲に危害に苦む者尠少にあらず現に最近に於て我騎兵三名買物の爲に新民府に出て其歸途に於て數十名の馬賊に出會し奮闘暫時遂に一名は重傷を蒙りたりと云ふ武裝せる騎兵に於て尚ほ且つ然り其他の危險は推して知る可き也斯樣の次第なれば同府附近の如き夜間は申合せたる如く何人も往來通行する者無く實に寂寥を極むと云ふ

●鐵路輸送營業開始者に付て

總体十五軒の輸送業者中果して何人愈々營業を開始するに至るかとは今日に於て尚ほ一般の頗る注目する所なるか斯業に關し相當經驗ある某氏の語る所に依れは總ての點より觀るに營口に於て五軒以上の開業者有之りては營利の目的を貫徹する事到底覺束なし聞く所に依れは十五軒の營業權利者中今日既に開業の準備に着手せる者十名近くにも達したりと云へは一應は或は何れも開業するに至らんも知れずと雖も開業後一人復た一人と事業の不利を覺へ結局は六七軒に其數を減少するに至るへし五軒以上にては既に營利の目的を貫き難しとするに六七軒にて結局せんとは平仄の合はぬ嫌なきにあらざれども何分十五名と云ふ頭數なれは中には名譽其他に顧て多少の不利を忍ふ者も出る可けれは六七軒位は止るに至るへし云々因に遼河の輸送組合の一團は二三日前より愈々營業を開始し現に一昨日既に貨車二臺の貨物を輸送したりと云ふ其他某々等も近々の中に開始するとの事なり尚ほ昨日の牛家屯停車場の近況中貨車の百二十臺とあるは一日二十臺の誤植と知るへし本營業に關係最も深きを以て玆に序に訂正す

●昨今の旅行者と婦人

昨今營口より各地に旅行する者一日に於て約七十人ありとは過日の本紙に記載せし所なるか今ま婦人の旅客に付て調査するに就中十四五名は實に婦人也而して婦人旅客の中に於て最も多數を占むるは奉天行にて其數日々大底七八名を下らす其の次は大連行にて亦た毎日五六名を下らすとの事なり、尚ほ婦人旅客の旅行目的を觀るに最も多きは看護にて之に次くは裁縫視察也、但し實際に於てた亦然るや否やは固より報道の限にあらず

●輕便鐵道の新設驛

南永世街第二市場豫定敷地に建設中なりし輕便鐵道新設驛は今般綏定門外間との軌道の布設を了り且つ待合所の建築も落成したれば既に新驛牛家屯間に旅客貨物の運搬を開始したり

●愛國婦人會の演藝其他　牛莊愛國婦人會に於て演藝併に慈善販賣の企畫有之るは嘗て本紙に於て記載せし所なるか其後双方共準備着々として進行し何れも五名の委員に於て頻に奔走盡力中なり現に慈善市に於て販賣すへき物品は以前當市三井に勤務せし依田氏の今日神戸に於て仝店に勤務せるを幸に仝氏に打電して其の買入に付て一切を依頼する所あり而して仝氏亦た能く之を承諾し既に太半の買入を終りたる由通知し來りたりと云ふ、尚ほ演藝の部も會員に於て昨今稽古最中なりと云へば愈々開始して其在留同胞の喝采を博し好個の思ひ付きと賞讃せらるゝも近々の中に在らんか因に依田氏の買入れに係れる物品は領事館より先月を以て內地に出張せし某巡査に於て歸途持ち歸る都合になり居れりとか

●日本人會評議員會　日本人會は來週の水曜日を以て評議員會を開催し市內各部に於ける區長の選擇、其他一二の決議事項併に二三の新問題に付き評議する筈なりと云ふ尚ほ以上の區長に付きては軍政署及び領事館等より相當の待遇有之る樣に爲し以て成る丈け名望ある人等に依頼せんと瀨川會首め の主なる會員に於て頻に心配しつゝありとなり

●ブツシユ氏の名譽　當地遠來洋行主ブツシユ氏が我邦に對する深厚なる好意は洽く世人の知悉する處なるが今般滿洲倉庫長日匹信亮氏及營口支庫長金子義友氏はブ氏の滿洲倉庫業務に對する功勞を謝せん爲め左の物品及挨拶狀を贈れり

一銀製花瓶　一對　一金製記章　一個
右我滿洲倉庫業務に多大の裨益を得たる紀念の爲めブツシユ氏に贈る
明治三十九年一月三十一日
滿洲軍倉庫長　日匹信亮
營口支庫長　金子義友

右の花瓶は東京玉寶室製の精巧なる品にして摸樣は花菖蒲の映亂たるものなるがこはブ氏の令孃アイルス(菖蒲花)に因めるものにて日匹金子兩氏の特に意を用ひし處なり挨拶狀及物品は金子支庫長代阪東一等主計丸山通譯と共にブ氏を訪ひ親しく贈呈したりと云ふ

●井上三井支店長の披露宴　曩に三井支店長に就任せる井上泰三氏は明五日午後七時アツセンブリ、ホールに於て重なる官民諸氏を招待し新任披露の宴を開かるゝ由

●滿洲通信社の事務開始　滿洲通信社の組合員は今日に於て既に十有四五名に達したるか同社は愈々一昨日より通信事務を開始し同時に內地の電送に係る緊急事件は一々速寫して組合員に配付しつゝありと云ふ尚ほ同社に對し組合員に加入し電報の配付を受けんとする者は今日に於ても申込み次第加入し得べしとなり

●本願寺の日曜說教　當地永世街矢野洋行同側なる本願寺出張所には定室に依り本日午後一時及び七時(營口時間)の兩回に於て日曜說教を開き(倫理と他力信仰)との演題にて寺本布敎師より說教あるよしなり

投書かご

▲藝妓糸代及〇〇料の直下げは事實に於て實行せられては居りません二時間の糸代を三時間と書出すから同じことです料理店組合は嚴重に取締つて貰ひまひう(計算生)▲貴紙上に實業上の記事を時々掲載せられ候ふが我々は實に有益なる此種の記事を歡迎致候今後續々御登載を奉願候(店員)▲鐵道に托して送る手荷物は時々紛失することがある僕の知れる婦人は生命より二番目の大切なる晴れ衣裳を入れたる行李を失ひ非常に落胆して居る今少し取締を願ふ(旅人)▲源菊さん餘り奥樣風を吹かすと白鼠も飛んで消へ失せますよ(留主好み番頭)▲神戸門司邊では種痘せなくては滿洲に渡航することを許さない位いじやのに御本家の當地は種痘の實行がない實に怪しからんことじや日本人會はコンナ事を認めませんかな(衛生家)

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上[illegible]	下[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上[illegible]	下[illegible]

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間 下り列車

驛名	發着時刻	
[illegible]	[illegible]	

上り列車

驛名	發着時刻	
遼陽	着午後三、五〇	發四、五五
大石橋	着一〇、三二	發一一、三五
金州	着翌前二、二〇	發三、一〇
旅順	發午後二、〇三	
大連	着五、三二	

營口線 下り列車

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●配偶の選擇（承前）

（學士會院例會席上に於ける箕作博士の講演）

▲我邦の配偶選擇法　婚姻の慣習は、國により所により多種多樣にして、何れも歴史上の理由を有することなるか、我邦の現狀を見るに頗る意を強うすへきものあり、男女年頃に達すれば兩親兄弟親戚乃至朋友は夫々其配偶者を選擇し、本人の納得したる後にて取極を爲すこと我邦從來よりの風習なり、而して選擇の標準とする所は、第一に血統即ち惡疾の遺傳なきや否やにして、第二に技能即ち一藝一能に長するや否やなり素より財産格式等の詮鑿も之れ無しゝにはあらされとも、一般より云へは此等は第二位に置かるゝものと見て不可なかるへく、藝術家の如き其門弟子の中より技能の優秀なる者を選んて、女婿と爲すはありふれたる事實にして、某醫家の如きは嫡出の相續者あるにも拘らす其養成せる子弟の最も技量ある者を繼嗣と爲すを以て不易家の憲と爲す程なり、予は之を以て最も人爲淘汰の理法に適へる配偶選擇法也と信す。

▲其の當然の結果　技量才能を配偶選擇の方法とすれば其子として生れ來る者の技量の優秀なるは自然の理數にして、斯くて數代數十代を經て子孫の智能其面目を一新するに至ること疑ふへくもあらす、我邦近代の進歩發展は其原因は種々あるべけんも、予は配偶選擇に關する我邦從來の習俗少くとも與つて多少の力ありしてと、信す、此點或は我婚姻慣習の長所として永遠に繼續すへき所なりとせむ。

▲某學者の奇言　大家の子に大家無く英雄は英雄を生ますと云へば、前陳の理論は凡ての場合に行はるとは云ひ難し、獨乙の某學者は予が卓絶せる技量を有せさるは予の子供に取りては幸福なりとの奇語を吐るは、確に一面の眞理を穿てるに相違無きも、大家英雄の子は常に愚物なりとしも限らす、團十郎の家は血統相續にて九代の名優を出せしか曼き事例必すしも稀なりとせさるへし、賢者の子に賢子なしとの西洋の俚諺は寧ろ例外の場合を示せると見て不可なし。

▲東西風習の差異　我邦は技能を配偶選擇の標準とし、西洋は戀愛を結婚の動機とす、我は冷靜に配偶者の良否を選擇し、彼は熱情の極動もすれは取捨を誤る、其利害得失必すしも智者を俟つて後知らさるなり、然るに西人往々にして我か婚姻の習俗を非難し、觀て未開野蠻の臭味を脱せすと爲すもの丶如く、而も我慣習の淘汰の理法に適ひ彼の慣習に比し一歩の長所あるを顧慮せさるに似たり、惟ふに西洋諸國は個人を社會の單位とし、婚姻は各個人の權利にして父母兄弟と雖も其權利を無視して濫りに容喙すへからすと云ふ觀念に基きて結婚自由の風習を打成せるか、之に反して我國家の單位は家に在り、親子の關係は夫妻の關係よりも重視せられ婚姻に父母の承諾を必要とするは勿論、長者たる父母の選擇に係る配偶は子たる者多少其意思を枉げてまでも之に服從せさるへからすと爲せしこと、現在の習俗を爲せし所以ならむ、理論の是非は姑く措き、實際上二者孰れを可とするやと云へは、予は寧ろ我習慣を採らんと欲する者なり。

▲我慣習の短所　然れとも一利一害は何事にても免るへからす、技倆才能を配偶選擇の主要標準と爲す結果は容貌身躰風采等を疎略にするの短所あるを免れす、現に我國人は身躰美に於て一歩を西人に讓る所あるは遺憾なから之を認めさるを得す、ポーツマス條約に於ける日露兩國委員の寫眞を見て、今少しく我委員の軀幹偉大なりせはとは何人も齊しく感したる所ならむ、近來西洋の我邦人を賞揚して種々の贊辭を呈するも未た日本人の風采は立派なりと云へる者あるを聞かす。

▲我習俗の一異例　身躰美を選擇の標準とするより淘汰の理を現實にせる我邦の一異例は華族なり、華族には妾腹の子弟多く妾は美貌を以て選擇の標準とす、此結果にや所謂華族面と稱し他階級者とは特殊の面貌を有すと稱せらる、或は然らむ、但其技能の面貌に伴ふものありや否やは別問題なり（完）

●紅葉門下の四才子

故紅葉門下四才子を出す、曰く小栗風葉、曰く泉鏡花、曰く徳田秋聲、曰く柳川春葉是れ、頃者四才子の平生を知る者四子を評して其作の傾向趣味の異るは其性格より來ると勿論なれども、其讀書より得る所最も多しと爲し曰く

▲風葉の讀む所は、日本の新聞雜誌さては中古以下の雜筆物語類なり、得る所は文にありて想にあらす、渠れは花袋、國男等と相交りて英獨佛諸國の歐洲文藝の梗槩を聞き、直に以て作の骨子となす、其思想の處によりてむらあり、雜然たる所、即ちこれより來る。

▲鏡花の讀む所は「西遊記」「三國誌」なとは素より、三馬、種彦に及ひ、殊に其材料を求めんが爲には好んで「齊諧記」「梁齊志異」「青燈夜話」「瑯琊代醉篇」「五雜俎」の如きを求食る、其怪談の西洋の妖精譚めかずして、支那神仙譚に似たる所以なり

▲秋聲は高等學校まで行きたる人にして、歐米の作物に親めり、殊にツルゲネフを愛し、メーテルリンクを讀むか如き、皆其冥想的なる嗜好を知るに足るものなくんば非す、殊に其作中に顯はれたる渠れが思想は到底西洋思想に觸れざるものが有し得るものに非るなり

▲柳川春葉は最も漢文を好み机邊に諸種の漢書を集めて日々之を繙く、其作物の穩健にして、多く社會道徳の法を超えざるのみか、却りて穩和なる道學先生の説教の如きもの一に其因を玆に得さるはなし。

●酒呑童子と今式部

酒呑童子と今式部何か爭ひ事も爲せしと見え左の投書前後して編輯局に舞ひ込む

▲妾がお客　今式部

妾が彈く三筋の絲に　あやつられ
五尺男の　浮かれ出しけり
あまた度鐵砲放せど　こりもせで
しげ／＼通ふ　野暮お客かな
いつわりの多き世なるに　野呂客の
時日たがはず　通ひ來にけり
二三本鼻の穴から　覗き出し
自惚客の　顏のおかしさ
心にも無きお世辭　ふりまけば
嬉し顏して　祝儀出しけり

▲女に　酒呑童子

私は藝者ですよと　濟ましこみ
調子外づれた　三味に音哀れ
おしろいをコテ／＼塗りし　おかめ面
はげて一しほ　おかしさぞます
殊更らに惚れた振りや　自惚れて
今ばんおとまりと　片腹いたき
軍票と一口言へば　祝儀だと
一割たらぬ　身を知らずして
私はお客なんぞは　とりませぬ
「ヘン」チャンチャラおかし　どこをその香が
身のほどを知らず野呂間をあざけるな
由良之助にものろま時代は

廣告

公示

一、厚皮焼屑　二十貫匁
一、短靴焼屑　二十組
一、冬繻絆袴下焼屑　四百貫匁
一、カタン糸焼屑　三百個
一、羅紗焼屑　五十貫匁
一、焼屑鐵具類　三十貫匁

右明治三十九年二月十日午前十一時牛家屯兵站司令部に於て競賣ス依テ本日ヨリ現品ノ縱覽ヲ許ス牛家屯縫靴工班ニ付テ見ルヘシ

明治三十九年二月一日

營口兵站司令部

募集公告

當局電話交換手募集す志願の者は(日本人にして年齡十六歳より二十五歳まで視聽力完全身体健康なるもの)自筆履歴書携帶當局へ出願す可し

營口軍政署電話局

解雇廣告

舊書記　渡邊德重

右ハ昨三十八年十二月二十八日解雇爾來本會ニ更ニ關係ナシ此段廣告ス

遼陽日本人會

備技手　小里智三郎

右の者當組勤務中事務の引繼を了せず自儘に立去り居所不分明に付解備致候條以後當組に何等の關係無之者に付此段廣告候也

遼陽　有馬組支配部

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車六千輛
第二號　二輪荷馬車輓具六千組
第三號　一人挽徒歩車一萬三千輛

此入札保證金は各自積代金の百分の五以上右競賣に附し賣却す入札望のものは當所倉庫に就き（自午前十時至正午）現品及入札心得書幷に契約書案等熟覽の上來る三月一日（自午前十時至正午）當所へ入札書差出す可し但仝日正午開札す

此契約は門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所長宗村傳喜擔任す

明治三十九年二月四日

門司野戰兵器本廠　鐵嶺出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所玆於日曆本年三月一日在鐵嶺倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午五點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月一日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書卽行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所長宗村傳喜

計開

第一號　双輪搬貨馬車六千輛
第二號　双馬搬貨馬車用車套六千副
第三號　人力單拉車一萬三千輛

明治三十九年二月四日

門司野戰兵器本廠　鐵嶺出張所

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

藝妓 仲居 新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル　高砂（電話一四五）

謹告

昨年八月下旬營口秋田組閉鎖以後韓國の事業に着手致居り遼東北淸地方の營業は一切不仕從而店員等派遣致候事無之處頃日秋田組或に秋田商會の社員と稱し各地徘徊不正の行爲なすもの有之由聞及候得共弊商會には全く關係無之候に付此段爲念謹告仕置候也

明治三十九年一月

韓國仁川　合資會社　秋田商會　代表社員　秋田毅

廣告

一本社は滿洲及蒙古の事情を日本各地の新聞社通信社及團体若くは個人に通報し又日本の政治經濟社會上の狀態を滿洲各地に於ける團体若くは個人に通報するを以て目的とす

一本社は今般東京通信社と特約し最も敏速なる電報通信を以て帝國議會の情勢及諸般の出來事を報道せしむ在住邦人にして電報通信を購讀せんと欲する御方は至急御申込みあれ

元神廟街四十四　滿洲通信社

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　事務取扱　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸通運公司　營口支店

讓り渡し

弊樓現在の家屋疊建具付の儘讓渡し度候に付御望みの御方は至急御來談被成下度候

二月四日

平野町　春帆樓

御料理 滿月

平野町一八二（電話一六二）

御料理 滿月支店

平野町（元都樓跡）

今般內地より撰り拔きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候

店主　靑木勝惠

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル　旅館部

藝妓 仲居 新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戸つ子

金城館料理部

廣告

松澤秀男

右自今關係無之候也

宅合名會社　營口支店

高等旅館 彌生館

營口永世街

館主　宮下只七郎（電四二）

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

淺田飴（あさだあめ）

本家 日本東京神田鍜冶町 堀内大藥房

肺癆痰喘氣急傷風痰咳小兒風疹病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

澤亀之醇良にして風味高尚

並ニ 札幌ビール 朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙 朝日 大和
醋 醬油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊營口東營口 營口支店

宅合名會社

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

寫眞 永清
奉天府大南門裡路西

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

酒保品 諸雜貨 御商
神崎洋行
營口永世街甲百廿七號警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

正札 特別廉價 雜貨 賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋 永世街森病院隣
和濟洋行
志田ます

御旅館
奉天 茂林館
小西邊門內路北
追テ日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ
家屋宏壯接待優遇

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子
清水寧木局

御旅館兼待合所
並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前
若松家
各位樣

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔 接待優遇懇切
開放全時ニ開業 奉天小西門外大街路北

旅館 東京樓
營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需應にず
即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店

各位樣

大日本帝國醫科大學模範藥局御用酒
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒 澤之鶴

滿洲特約大販賣

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

裕和盛本支店所在地
○本日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、

裕和盛は清商中日本通の張本
澤之鶴は既に評定ある天美祿

時刻

宮門抄

初六日

張英麟等國鄉官謝　恩　延秀假滿請　安　阿王續假五日　貴伯請假十日　車王續假十五日　大穎駙請假五日

召見軍機　亨公

皇上明日卯正一刻至　中和殿看版

張亨嘉遞封奏一件

論說

論中國民氣不昌之原因

國也者。民之積也。全國人民志氣之所趨向。即其國之盛衰強弱隨之而變。然則民人之志氣。即國家之精神乎。精神畢具。出其心思材力。以競爭於世界。而民智發達。而羣學興立。而社會改良。而國家思想現象。遂組織一不可銷沈。不可磨涅之大團體。謂非基於箇人之品質。而成爲愛國之本源歟。而不然者。國腦不具。國形虛存。百萬之衆。謂之無民。是國自國。民自民。如盤沙散石之不可以聚。又何怪其民氣不振。而國威不張也哉。前說似日本。後說似中國。第不解同種同文如中日。民情國勢。何竟有若是之不相同者。日本當幕府時代。紀綱廢弛。壯士沈淪。受侮英美。危同累卵。自維新後而民族思想。日進文明。雖自王公以至輿隷。不無階級。而獨立之性質。合羣之氣誼。則舉國一致雄視全球。是以與俄開釁以來。入隊之旗。有祈其戰死者。從軍之什。有祝勿生還者。婦人孺子。有指貲助餉。將校隊長。有捐軀報國者。其急公義重名譽也如此。豈惜財產顧身家之無能輩所可同日語耶。雖然三代直道。不復見於春秋。倉葛義民。獨知公憤。秦中婦女。亦解同仇。固不得謂我神明華胄。絕無愛國心也。然而不能不收此惡果於數千百年以下者。果誰造此惡因於數千百年以上哉。一在霸主之摧殘。自祖龍有懾於荊卿博浪之爲。銷鑄鋒鏑。以愚黔首。繼之者遂利其術之便。而走狗可烹。任俠可誅。清流可戮。兵權可釋。豪傑灰心。良有以耳。是以上焉者。守一自了主義。置國事於不聞不問。而爲我情深。罔知公利者次之。而爲人作倀。噬我同胞者又次之。於此而欲激其熱誠。忠君愛國。能乎不能。一在宗教之柔儒。孔門設教。六藝兼施文雖足重。武未或廢。後世帝王。藉此術以牢籠人心。即藉此術以消摧士氣。漢試策論。晉尙淸談。唐重詞章。宋尊道學明取制藝。法雖代有變遷。而使天下人揣摩於患得患失之中。以耗其精血。疲其腦力。則自秦灰而後。千餘百年。未之或改。以此文弱書生。而欲其爲折衝禦侮之才。又能乎不能。不獨此也。自魏降倡和戎之策。漢懾匈奴。一意和親晉畏羯胡。偷安江左。李唐借援於契丹。而西北邊患。直與唐室相終始。他如割地求和。燕雲可棄。稱臣納欵。犬羊爲尊類皆怯懦成性。而釀成中國歷史上百世彌大之大辱也。相沿至今。而震懾外人之心愈甚。謂中國人有蹂躪全球之資格。其誰信之。且堅忍不拔之精神。必出於健康強固之體魄。中國以戕殘肢體之婦女。能必其產魁梧奇傑之嬰兒乎初生弱質。既於備生體育諸學。未嘗稍講。而又嗜好太深膏血潛銷。貧而且弱。自救不暇。國事縱急如星火。固若罔聞矣。而況歷朝施專制之手段以壓民權。剝民財。傷民力者。日出而未有已。其不能勇健奮發。各盡其當然之天職。又奚足怪。然則中國民氣不昌之原因。班班可考。今而欲激發民氣。計未有善於去專制而行立憲者。何也。立憲政體始於么匿之自立。而成於拓都之固結。日本仿行西法。遂掃專制之積弊。而人人皆有圓滿具足之幸福。我仿日本而行之。又安知不以比較而競爭。以競爭而進化也。其主義在國家行地方自治之制。其起點在民人有投票選舉之權。如其不然。而惟責民之無良。視國之興廢存亡。直若秦越之不相涉。殆未卽利權義務兩思想而揣度之也。國不能予民人以相當之利權。而欲人民對國家之義務。不辭其勞是猶磨甎以求鏡。炊沙以求飯也。其何能濟。

中外要聞

●俄欽使問詢張庫開放　俄國駐京欽差璞科第日前至外部會晤那相國問詢庫張開放日期並謂庫倫爲中國無力開放俄國願代中國贊成其事

●王中堂乞休消息　戶部大總理王文韶近日與鐵寶臣軍機議論部務兩不相下十相國謂此部務余在署富司官至今已五十餘年一切公務已不堪挽救凡事惟鐵尙書專辦足矣當日即寫具乞休摺不日必見明文也

●俄兵滋擾搶掠　吉林將軍達桂電致外部稱哈爾濱附近一帶時有俄兵滋擾搶掠商民貨物等情曾經電請大部轉照俄使禁阻在案誠恐日久生懈仍望大部與俄使公訂欵條設立詳約以期商民有所保衞云云

●喇嘛與俄私訂開鑛　駐藏有大臣接議中英藏約張大臣電告外部稱查得達賴喇嘛曾與俄官私訂開鑛約章誠恐開議牽涉諸多不便特希大部與俄使磋商將約作廢云云

●皇太后獎勵女學　大公主除夕進內辭歲　皇太后垂問汝能辦理貴胄女學可充監督之任大公主奏對女學關係甚大奴才一人不能勝任須有通達文理之福晉夫人勷助或由外國聘請女教習辦理云云　皇太后深然所奏

●兩宮留心鐵路　內廷人云年前商部進呈行省貼說鐵路圖册　皇上每日退朝至　皇太后前請安時必照圖講說一次或問及外交之事　皇上有奏對不明之處　皇太后即加申斥云

●飭各州府縣親視漕米　政府議擬各省州縣徵收漕糧令該督撫嚴飭各州府縣於開倉時親身稽查若因公他出暫委佐貳人員監收其州縣在倉看守之親戚人等以及經手吏役如有包攬浮收交通舞弊即行具實嚴參究處監收各官扶同隱匿者一併究參

●京察大典之考查　政府前擬飭各部院堂官本年京察先行過堂考查各司員差使勤惰飭各堂破除情面認眞分別以備出具考語擬辦而重大典昨聞吏部堂官考查司官有新分部郎中劉洪基年老多病惟文理尙優着以同知降補文選司員外郎普梅嗜好甚深著原品休致筆帖式色洪圖呈寫履歷漏寫名諱著咨回本旗學習再行當差以上三員奉堂均入大計云云

●伊犂平靖　伊犂將軍長庚氏年前電達政府云回曾土匪相亂現已鎭壓平靖仍行嚴防以免後患云云

●連州善後　連州教案自議結後粵督遂與該教堂議定嗣後常駐一營認眞保護教堂以免他變業已電告外部

●肅邸赴蒙古期　肅邸有於二月中旬起程赴蒙之說尙未決定

●中俄不訂特約　昨據外部人云中俄條約議訂與否尙未定據　大臣之意祇擬將日俄條約中有與中國關係者與俄國提議訂一專約以資信守而俄公使之意則無論議訂與否必須將恰克圖商約重行修訂然則亦無所謂特約也

●黑龍江設礦政局　黑龍江礦產多與俄人訂約開辦利權旁落匪伊朝夕但黑省礦藏無盡故程雪帥奏到商部礦政調查局章程卽札飭設局調查由官紳會辦現程雪帥已有咨文到商部言已設立礦政局矣

●日設學堂以造就中國人才　中國內政當速爲改革者已不勝指數矣然若養成質直剛毅之警務官及監獄吏實爲當務之急是以日本朝野之有志者常以中國之前途爲慮之徒日前傳檄集聚同志遂決議醵捐資款創設一學堂于東京府下谷區谷中町名爲東京警監學校推將關淸英氏（前任警視總監）爲其督辦擧古岡廉造氏（前任大審院檢事頭爲內務省警保局長）爲其教長又于學術顧問之任推高橋作衞（帝國大學教授）及其他數氏充之聞其目的係專就留東中國學生、撰其志操堅實於成業後堪膺中國改良警察監獄之任者而即授以學業所有各生徒之學費盡由該學堂給與之現擬于西二月一日爲開始授業云

叢談

●老實人勤勵起家　昔有一外國人兒　生下十一个小孩兒　那第七的名兒叫（若克孫）那若克孫有七八歲的時候　他爹爹就嗚呼完了　他的爹爹死了之後　哥哥各个就往別處去了　爲的　飯吃呢　若克孫本來他爹在生的時節　係在鄉下間的學堂念書哩　應爲他爹沒有咯　也沒有多大的錢兒　無奈就得出這念書的行囉　跑到朋友那兒附住着　可奈他的朋友也沒什麼錢兒的嘔　在那條窳破的小船裏頭住家　你說他苦不苦呢　要是別人一准是終日長嗟短歎咯　越弄越不了呢　像這樣兒的幹嗎　一准係糟透哇　怎曉得若克孫却不然　他雖然係在那破船住家　到很安本分　勞而不怨　見天見什麼苦累他也　勤勵自已念自已的書　學習那各樣的手藝兒　挨什麼苦還係挨着念書學藝　一點兒不焦急　後來　着招呼他附住那朋友！有病　就叫他替自已代勞　那時候分重了　事兒到也少了好些个　他就拿了一本英國的博物全書　見天見那們看　不分白天黑夜在這看書　所有什麼的書全都看過了　後來作買賣的時節　又是勤勵得很　指籌握算　想出很多聽錢的法子　就發起大財來啦　如今他的商船　在洋海裡頭的　佔了許多　跟各國買賣的　總算不少　諸位　你看若克孫那小孩兒　自少沒父母　要是別的孩子　一准是學壞了　他却因爲肯辛苦肯勤勵　所以後來有了這麼好處　發了那們大的財　你雖知他的大財　不是押寶得來的　也不是由彩票得來的　却在勤勵兩个字上頭得來的呢　各位要是不想發大財　過好日子　那就不用說了　要想發大財過好日子嗎　就得跟他這麼肯能耐　肯勤勵的學纔行哩

NEWCHWANG, SUNDAY, FEB. 4, 1906.

THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXVIII).

Our esteemed Shanghai contemporary the "Shanghai Times," in its issue of the 22nd. ult., gives an astounding account of a Mr. "Archer B. Hulbert, an American author who of late years has edited a newspaper in Seoul. "He has established headquarters in Tientsin," continues the Shanghai contemporary, "for a world-wide agitation against Japan's protectorate over Korea. He alleges that the Emperor of Korea has commissioned him one of twelve envoys to oppose recognition by foreign nations of the Anglo-Japanese Alliance and of Japan's control of Korean affairs. A fund of 1,000,000 yen ($500,000) is said to have been provided for this purpose"! From the antecedents of the Korean Emperor, it will surprise nobody that knows him, to learn that he should have sent out a dozen emissaries to the four corners of the earth, upon just such mission as represented. But, that 1,000,000 yen has been set apart to that end! It is well that the report is put down as a piece of hearsay talk. Assuming the truth of the allegation, who is to pay this snug sum of gold? The Korean Emperor himself certainly cannot afford it, out of his famed slender civil list. Can some rich friends of his have agreed to advance it then? No British or Japanese purse would loosen its string for this suicidal purpose. Is this hearsay report merely an idle rumour circulated for what it is worth? Positively not, in its entirety. The other eleven propagators of the 'Independence Doctrine' have not yet popped up in celebrity as this Mr. Hulbert. For aught the world knows, they may be labouring with their might and main, unknown and in silence, for the lost cause, like those self-denying disciples of yore, and may be heard from at any moment, converting the civilized centres into their sacred belief. At least, Mr. Hulbert appears to have made a preaching tour of America his proud home country, on his humanitarian errand. Apart from his travelling expenses which, for a commissioned envoy of an Emperor, must have run up quite high of all countries in America. This particular kind of humanitarian errand is not, of necessity, one of charity. Fighting for the ruined cause of a doomed country by a superior foreigner is worth a very handsome fee. Besides, he must bear the onus of convincing the world that its senses are utterly at fault, on matters Korean. The world must needs be persuaded firstly that the tragic fate of Iago in "Othello" is a gross outrage against human sensibility; secondly that man can raise to life again what the Supreme Destroyer has destroyed; thirdly that the world must restore autonomy to the most irresponsible Korea, to incur the unavoidable risk of a third war on her account necessarily more sanguinary than any yet on record. The burden of undertaking such impossibilities is to make oneself a laughingstock of men. What good repute one has won will fall off as clean as the frost bares the tree of its leaves, never to greet the budding spring again. And then, the work would be another raising of the Babel Tower to reach Heavens. Even after years of toil, one would be no nearer the goal than when one first started. A gentleman of Mr. Hulbert's assumed ability and good sense must be fully aware what crushing personal risk is involved in such a task. The enormity of his fee may therefore be well imagined.

If his allegation is correctly quoted by the Shanghai contemporary, there are still eleven other Imperial envoys engaged on the same uphill, not to say unattainable, commission. What must be the aggregate total of their fees and expense accounts! Really, 1,000,000 yen would seem to be an insultingly paltry figure for all. Now, the same puzzling question suggests itself again. "Where in the world does the money come from?" What the deuce the generous investor, as some such there must be, can see in his considerable outlay, is past Japanese comprehension.

Mr. H. McLure Anderson, the Tientsin architect, came to Newchwang last Wednesday and left by the night train next day for Mukden to take part in the missionary conference there. We understand that Mr. Anderson will pass through the port on his return trip within a week.

The Exchange Quotations remained stationary yesterday as the day before.

北方風晴豫報

昨日の氣溫　最高溫度零下廿五度五　最低溫度三度六

昨年との比　高キ一五度二　低キ一二度三

營口旅館料理店案内 (いろは順)

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號(電話五一) 店主 麻田久二

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

御料理 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋御料理 第二東京館 元神廟街

東京一流 かき飯 店主 松田平四郎

洋和料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園揔

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

料理 鋤焼 喜楽亭 營口元神廟街 亭主 元權吉

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口絞ブシツ定商會門東街
喜川鐵工場

發賣 料木 標子 木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峰吉(電話一三六番)
遼陽小西門内 鹽川商會

建築用材外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本餘
北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

幣店儀雑貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 森屋洋行
大連大山通り二丁目 仝支店
遼陽西門外 代理店 林洋行
奉天小西門外 代理店 米田洋行

御旅館 天津 芙蓉館 駐屯軍御用 並西洋料理 (電話四十一番)

北京 扶桑旅館 東單牌樓大街路西 客室清潔料理鮮新

御旅館 豊陽館 上海(電話一〇六番) 日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乗船取扱 館主 米田藤吉

S.K.

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒 菊正宗 新着!!

營口明覽年定價にて差上ます

祝新年 雑貨 内外の雑貨商 加藤洋行(營口電話八十番)

本店 天津日租界
支店 營口 北京
出張所 遼陽 大阪

工 營口元神廟前 飯塚工程局材料部 (電話百三十五番)

幣局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

雑貨 醬油 味噌 清酒
營口西北街 阪神組
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰

喜久洋行 永世街八十號(電話百五十二番)

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

爲替相場 (二月三日)
上海は 百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は 百圓に付一百〇八五圓五十錢
芝罘は 天津と同直段

日本品最近物價表 加藤洋行調査
菊正宗 樽物類 三斗九舛入 銀二十圓
麒麟正宗 四斗四舛入 同十七圓
全 瓶詰四打 同十五圓
鮪 四打入 同十三圓
ラツキヨ 五打 同十四圓五十錢
辛子 漬 四打 同九圓五十錢
フキ 全 同八圓
全 同十四圓
鷲ミルク 全 同十八圓
石炭(飯塚工程局)
上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓
全 切込 全 十七圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告料 二十一字詰一行一回 銀二十仙